

事業所名		あいうえおん		支援プログラム		作成日		2024年		4月		1日		
法人（事業所）理念		1. 子ども主体の成長支援 「すべての子どもたちが、自分らしく輝き、未来に向かって成長できる場を提供します。」 2. 家族と共に歩む支援 「家族との連携を大切に、安心して頼れる存在として寄り添います。」 3. 個性を尊重した多様性の実現 「一人ひとりの個性を尊重し、多様性を受け入れる社会の実現を目指します。」 4. 地域社会との共生 「地域と共に、子どもたちが安心して過ごせる社会づくりを推進します。」 5. 成長の喜びを共有する場 「挑戦する喜びと成功の達成感を分かち合い、未来への自信を育みます。」												
支援方針		感覚統合とは、視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚、平衡感覚など多くの感覚情報を脳がうまく処理して、身体の動きや反応を適切に調整する仕組みについての理論です。また、『感性』とは一般的に外界から刺激が加わった時に直感的に感じる感情や欲求に関する心の働きについてを指します。 あいうえおんは、子どもたちのスムーズな社会生活を現実にすることができるよう、SST、学習支援、微細運動、粗大運動、協調運動等、感覚統合理論の考え方を活かした、様々な活動プログラムに取り組み、褒め認められる経験を重ねる中で、子ども達の豊かな感性や可能性を引き出すことができるよう、子ども達の発達に応じた療育を行います。												
営業時間		10時		分から		19時		分まで		送迎実施の有無		あり なし		
支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	■健康状態の把握 ■基本的な生活スキル獲得 ・SST、道徳などによる身体的・精神的・社会的訓練（生活におけるマネジメントスキルの育成） ・スケジュールの明確化、時間を意識した行動を促し、生活リズムの定着 ・身の回りの物の管理、環境整備（持ち物の管理、身の回りの整理、お片づけ等） ■クッキング、実験（簡単な調理の体験、食への興味、物質や現象、科学の不思議体験） ■外出活動（戸外でのルール、安全に行動する、交通ルール、お金の使い方、様々な体験活動） ■防災訓練 避難訓練												
	運動・感覚	■感覚統合理論に基づく遊びに取り組み中で、固有感覚、前庭覚、平行感覚、ボディイメージ、協調運動、眼球運動等、様々な感覚を経験する。 粗大運動…リズム、ダンス、バランス、ジャンプ、ボール、ルールのあるゲーム（姿勢保持、筋力、柔軟性、俊敏性、力加減、距離感、動きのコントロール） 微細運動…制作、パズル、結び等の生活動作（摘まむ、はめる、通す、引っ張る、貼る、折る、描く、切る、編む）												
	認知・行動	■学習支援・概念の形成 ・宿題、色、形、重さ、大きさ、ひらがな、カタカナ、数量、計算、文章読解、コグトレ、点描等々 ・物の機能や属性、形、色、音、空間、時間等、様々な概念の形成 ■感覚統合理論を活かした遊びの中で、視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用。 ・ビジョントレーニング、ストップゲーム等 ■状況や表情、ジェスチャーの読み取り、相手の気持ちの理解、共感 ・SST、道徳、プリント課題、カード ■活動時に経験する様々な感情や欲求に対する対応 ・ルール理解、勝敗、順番、気持ちのコントロール等												
	言語 コミュニケーション	■挨拶（通所時、お迎え時、活動スタート時） ■学習支援（言葉、ひらがな、カタカナ、漢字、文章読解、音読） ■語彙力向上、豊かな表現（絵本、カード、音読、英語、道徳、SST） ■正しい言葉の選択、自分の気持ちを伝える（集団遊び、道徳、SST、発表、感想文、個別対応） ■共同注意、非言語コミュニケーション（集団遊び、道徳、SST、カード、個別対応）												
	人間関係 社会性	■自己認識（集団活動、SST、道徳、発表、感想文、個別対応） ・自分の強みや苦手部分を理解し、自分に適した方法での他者と関わったり、思考したりする ・自分の感情を言葉にする ・感情のコントロール ■他者理解（集団活動、SST、道徳、絵本、発表、感想文、個別対応） ・相手の言葉や表情、しぐさから気持ちを正しく読み取る ・パーソナルスペースの理解 ■コミュニケーション能力（余暇時間、集団活動、SST、道徳、絵本、カード、発表、個別対応） ・会話をする際の適切なタイミング ・相手の話を聞く ・言葉や非言語（表情、身振り）の理解、表現 ■社会的ルールの理解、実践（余暇時間、集団活動、SST、道徳、絵本、カード、個別対応） ・ルール理解・順番を守る ・声の大きさ等												
家族支援	■家庭での生活リズムや行動支援の方法をアドバイスします。 ■家庭内での困りごとや問題に対して、解決策を一緒に考えます。 ■定期的にご家族と連絡を取り、子どもさんの進捗や支援内容について話し合います。 ■情報交換等ご家族の交流の場を提供します。					移行支援				■子どもが学校を卒業後の進路で、生活に適應できるよう必要なスキルを養います。 ■日常生活の自立に向けて、生活全般のスキルを学べる機会を作ります。 ■保護者へのアドバイスや関係機関との連携を通じて、お子さまが安心して次のステップを迎えられるよう支援します。				
地域支援・地域連携	■地域の学校、学童、医療機関、福祉施設などと連携し、子どもとご家族が安心して地域で生活できるようサポートします。 ■地域の資源やサービスを活用しやすくするための情報提供や調整を行い、必要に応じて関係機関との橋渡し役を担います。 ■地域全体で子どもの成長を見守る仕組みづくりにも積極的に取り組みます。					職員の質の向上				■定期的な研修やスキルアップのための勉強会を実施しています。 ■最新の知識や技術を学び実践に活かすことで、子ども一人ひとりに合った支援を提供します。 ■チーム内での情報共有や専門家との連携を深め、より質の高いサービスを継続して提供できるように努めています。				
主な行事等	制作活動、実験、調理、外出活動（公共施設、社会見学、買い物、レクリエーション活動、農業体験等）、保護者参観、保護者懇談会													